

〔保健福祉部 介護福祉課 所管〕

03010302 シニアクラブ活動助成事業

決算書P. 209

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	2,101	1,869	232	
国庫支出金				
県支出金	322	242	80	高齢福祉対策費補助金
地方債				
その他				
一般財源	1,779	1,627	152	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブの活動をより一層活性化し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。

【今年度の取組】

高齢消費者被害防止キャンペーンにより、見守りサポーター養成講座を実施し、76名の見守りサポーターが誕生した。単位シニアクラブ及び各種イベント、守谷駅自由通路での街頭キャンペーンを実施し、シニアクラブ活動の普及啓発を図った高齢消費者被害防止の見守りによりシニアクラブ会員の詐欺被害を事前に防いだ。

シニアスポーツ大会では、保育所園児と一緒に競技を行い、世代間交流及びクラブ間交流を図った。

【成果の動向】

シニアクラブの広報活動及び単位シニアクラブのチラシ作成、単位シニアクラブ会員の勧誘による普及啓発により、単位シニアクラブ会員数が増えている。

また、高齢消費者被害防止キャンペーン等の新たな事業の実施により会員の意識の向上が図られている。



高齢消費者被害防止キャンペーン

【今後の事業の方向性】

シニアクラブ会員数の増加に伴い、各種イベントへの参加者数の増加が見込まれる。

また、高齢消費者被害防止キャンペーン等の新たな事を展開することにより、シニアクラブの活性化を図っていく。さらに、今後はスポーツ大会運営などに自主的に携わっていく。

03010303 養護老人ホーム入所措置事業

決算書P. 211

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	12,070	16,685	△ 4,615	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	2,563	3,352	△ 789	老人保護措置費負担金
一般財源	9,507	13,333	△ 3,826	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

65歳以上の高齢者で身体上、精神上、環境上の理由及び経済的な理由により在宅での生活が困難な方の安心安全な生活の場を確保する。

【今年度の取組】

日常生活動作等の状況について、本人及び施設担当者と面談を行い、措置継続の要否を確認した。

介護状態が重くなり養護老人ホームでは対応することが難しくなったことから、特別養護老人ホームへ入所することになったため退所に至った方がいた。(退所者：2人)

【成果の動向】

在宅生活が困難な場合は、介護保険サービスや市の高齢者福祉サービス等の利用により対応していることから、養護老人ホームへの入所措置者数は少ない。

【今後の事業の方向性】

入所措置が必要な方に対しては、速やかに入所ができるよう、相談や手続きを行う。

03010304 ひとり暮らし高齢者乳製品配布事業

決算書P. 211

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	889	988	△ 99	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	889	988	△ 99	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

65歳以上のひとり暮らし高齢者を定期的に訪問することで安否確認及び孤独感の解消を図る。

【今年度の取組】

安否確認ができない場合は、緊急連絡先の方(家族、親類等)やケアマネージャー等と連携を図り、対象者の安否を確認した。不在になる場合は、事前の連絡をするように周知した。

【成果の動向】

定期的な訪問による安否確認により、未然に事故防止を図ることができる。
高齢者が増えているが、利用者数は横ばいであることから、潜在的な利用対象者がいると思われる。

【今後の事業の方向性】

PRに努め、利用促進を図る。

03010305 ひとり暮らし高齢者緊急通報体制等整備事業

決算書P. 211

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	323	429	△ 106	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	323	429	△ 106	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

ひとり暮らし高齢者等の急病や事故等のため救助を必要とする際の消防署への通報体制を整えることにより、迅速な対応を行うことができることから、在宅生活での不安を解消する。

【今年度の取組】

電池交換及び保守点検を実施し、機器の管理を行った。(隔年実施)
消防本部から電池切れ等の通報があった際には、対象者宅へ訪問し、機器の確認及び通信体制が正常であるかを消防本部とテスト送信の確認を行った。また、正しい利用方法について周知を行った。

【成果の動向】

ボタンを押すだけの簡易な方法で消防本部へ通報できることから、ひとり暮らし生活の緊急時の不安を解消することができ、緊急時には即座に救急搬送などの対応ができる。
高齢者が増えているが、利用者数は横ばいであることから、潜在的な利用対象者がいると思われる。

【今後の事業の方向性】

PRに努め、利用促進を図る。

03010306 敬老祝金支給事業

決算書P. 213

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	1,120	2,895	△ 1,775	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,120	2,895	△ 1,775	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高齢の節目を迎えた方々に、長寿の喜びと今後も健康でおられることを感じていただく。

【今年度の取組】

高齢者の増加による経費の増加や事業効果を見直して、対象年齢を縮小した。対象年齢77歳を廃止し88歳、99歳及び100歳以上とした。

配布に協力いただいている民生委員の負担も軽減した。

【成果の動向】

高齢化社会及び健康寿命が進み、年々支出が増加傾向にあり、平成37年前後の団塊の世代が77歳を迎えるにあたって検討が必要であった。

日本人の平均寿命も男女とも80歳を超え77歳が平均寿命以下となる状況であり、長寿とは言えない状況であるため廃止した。このことにより、効果を考慮し成果は向上しているとする。

【今後の事業の方向性】

高齢者数の推移を考慮して支給年齢、支給金額の見直しを行う。

03010307 敬老会開催事業

決算書P. 213

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	2,936	1,466	1,470	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,936	1,466	1,470	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高齢者の健康維持と生きがいを醸成することにより、健康維持につながる。

【今年度の取組】

地区敬老会開催に向けて、芸能人の委託を廃止し、シニアクラブ、出前サロン等の団体の出演による手作りの敬老会を実施した。

また、高齢者の詐欺被害防止のために、茨城県警察音楽隊の演奏及び寸劇、取手警察署、守谷市シニアクラブ連合会によるPRを実施した。また、交通防災課による交通事故防止のPRを実施した。

【成果の動向】

平成27年度は、常総市が関東東北豪雨の影響を大きく受けたことを考慮し、開催を中止した。

平成28年度をもって市が開催する行事としては目的を終了したもので、まちづくりのために事業を残すことができたことから成果は向上した。



敬老会

【今後の事業の方向性】

平成29年度以降は、各地区において地域福祉計画実行委員会や自治会等の主催により、敬老者と地域の方のつながりや異世代交流をつくることを目的とした敬老行事を開催する。

03010308 高年齢者就業機会確保事業

決算書P. 213

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	3,100	3,100	0	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	3,100	3,100	0	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

シルバー人材センターは、60歳以上の高齢者の労働能力や技能を活用し、地域社会に密着した短期的な就業の機会を提供している。

シルバー人材センター事業の円滑な推進により、高年齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会への参加を図る。

【今年度の取組】

対応できる事業は限られているが、利用される方の要望に出来る限り対応するよう努めるように指導した。

【成果の動向】

事業運営に要する一部費用を補助金として交付することにより、事業の円滑な推進を図ることができる。

【今後の事業の方向性】

自立した健全な運営を継続するよう指導する。事業活動のPR等の支援を行う。

03010311 軽度生活援助事業

決算書P. 215

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	1,308	2,088	△ 780	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	232	185	47	軽度生活援助派遣納付金
一般財源	1,076	1,903	△ 827	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

対象者は、要介護認定を受けていない①65歳以上のひとり暮らしの方②65歳以上のみの世帯に属する方とし、自立した在宅での生活を継続してもらうことを目的とする。(ただし、市町村民税が課税されている方及び市町村民税が課税されてる方と生計を一にする方は除く。)

【今年度の取組】

利用者負担金の見直しを行い、1時間120円を240円と増額した。また、利用対象者の見直しもを行い、利用者本人が市町村民税非課税であっても生計を一にする者が課税されている場合は、対象外とすることで、低所得者に限定した事業とした。

【成果の動向】

家事支援を行うことで心身の負担を軽減することができる。

高齢者が増えているが、利用者数は横ばいであることから、潜在的な利用対象者がいると思われる。

【今後の事業の方向性】

PRに努め、利用促進を図る。

03010313 出前サロン活動支援事業

決算書P. 215

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	880	996	△ 116	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	880	996	△ 116	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高齢者の生きがいづくりの機会と社会参加の促進を目的とする。

高齢者が地域において趣味の活動や仲間との交流を行うことにより生き生きと暮らせる社会となり、出前サロンの開催箇所の増加により介護予防施策の拠点が増え、高齢者が孤立しない状態になることが期待される。

【今年度の取組】

新規サロンの増加。スマイル、健康サロン、東板戸井サロンの3箇所が新規サロンとして開設した。

視察研修を合同研修にすることにより、サロン間の交流が図られ、バス使用の削減を図った。

【成果の動向】

サロン設置は、平成28年度にも増えていることから今後も増加が見込まれている。

歩いて行ける身近な場所にサロンが開設されることで、高齢者の外出の機会を作ることができ、また、サロン等で実施しているシルバーリハビリ体操等により介護予防が図られている。



出前サロン大野(シルバーリハビリ体操)

【今後の事業の方向性】

リーダー研修や研修会を行い人材育成を図り、質の高い継続したサロンづくりを行う。

03010502 居宅サービス利用者負担軽減事業

決算書P. 221

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	3,475	3,698	△ 223	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	3,475	3,698	△ 223	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

要件に該当する低所得の高齢者に対し自己負担の一部を助成し、経済的な負担を軽減することにより在宅生活の継続を支援する。

【今年度の取組】

介護保険料滞納者は対象外にするなど、さらなる制度の見直しを行い、制度の公平性を高めていく。

【成果の動向】

制度の一部見直しを行ったことで、住民票の世帯が別であっても課税者が同一住所・敷地内にいる者を対象外としたことにより、本来事業の対象者とすべき低所得者に向けての助成が成された。

【今後の事業の方向性】

低所得者が必要な介護サービスを利用できず、在宅生活の継続が困難となってしまうことを防ぎ、さらには自立を促していく事業である。必要な介護サービスを利用し続けることで、要介護状態の悪化を防ぎ、介護給付費の増加を抑えていく。

ただし、介護保険料をはじめとする市税等の滞納者を対象外にするなどの制度の見直しを行い、制度の公平性を高めていく必要はある。